

24. Tc-99m HM-PAO 脳血流シンチグラフィの臨床評価——ポジトロン CT との対比検討——

一矢 有一 桑原 康雄 綾部 善治
三宅 義徳 増田 康治 (九州大・放)

脳血管障害, 脳腫瘍, 痴呆などを含む23例に, Tc-99m HM-PAO (HM-PAO) SPECT を施行し, 合わせて行った PET 所見との対比検討により, 本薬剤の臨床的有用性を検討した. HM-PAO は 10–20 mCi 静注し, 5 分後より撮像した. PET は O-15 H₂O 持続静注法, または F-18 FDG 法により行った. その結果, 23 例中 15 例では両者はほぼ同じ所見を呈したが, 8 例では PET の方が広範な異常を示した. これは, HM-PAO では, 定量化していないため脳全体にわたる異常がわからなかったこと, 微細な変化が検出できなかったことによると考えられた. また, HM-PAO の方が, 高血流域と低血流域との差が小さかった. このような問題点はあるものの, 本薬剤は簡便に脳血流をみるものとして, きわめて有用と考えられた.

25. ポジトロン CT による脳腫瘍における crossed cerebellar diaschisis の検討

桑原 康雄 一矢 有一 綾部 善治
三宅 義徳 蓮尾 金博 増田 康治 (九州大・放)
福井 仁士 竹下岩男 (同・脳外)

Crossed cerebellar diaschisis は大脳半球の梗塞において最初に報告された remote effect の一つであり, 対側小脳での血流と代謝の低下をきたすものである. 今回ポジトロン CT を用いて局所脳血流, 酸素摂取率, 酸素消費量, 糖代謝率を測定し, 脳腫瘍における crossed cerebellar diaschisis について検討した. 対象は髄膜腫 5 例, 多形性膠芽腫 3 例, 星細胞腫 6 例, 乏突起膠腫 2 例, その他 3 例の計 19 例である. 脳血流および酸素消費量の測定は ¹⁵O-平衡法, 糖代謝率の測定には ¹⁸FDG を用いた. Crossed cerebellar diaschisis は髄膜腫 1 例, 多形性膠芽腫 2 例, 星細胞腫 3 例, 乏突起膠腫 2 例, 悪性リンパ腫 1 例の計 9 例に認められた. また, 酸素消費量と糖代謝率は血流とよく相関した. 臨床症状との対比では両者の関係は明らかでなかった.